

「知的障がい者に暖かい太陽の光をあてるようにしなければならぬ。その人達の住むところ・集まる場所は、陽光のサンサンとふりそそぐ、陽のあたる丘でなければならぬ。」その意味で「陽の丘」と名づけた。 深瀬 孝一

陽の丘

(150号) 令和6年1月発行
発行 堺愛育会 曾根 政美
編集 堺愛育会
〒593-8312 堺市西区草部493番1
あすなろ授産所内
TEL 072-271-8001
FAX 072-271-8002
HP <https://www.asunarokusabe.com/>

年頭のご挨拶



堺市 健康福祉局 障害福祉部 障害施策推進課長 吉田 慎一

明けましておめでとうございます。

堺愛育会の皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市障害福祉行政に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へ移行し、外出制限等が緩和されたことが、生活や事業所運営の中で大きな影響を与えた年であったと思います。外出や各種イベントへの参加が増え、授産活動の面でも様々な変化がありながら活動されたことには、ご苦勞も多かったと推察いたします。皆様には種々の変化に柔軟に対応していただきながら、活動にご尽力いただきましたことにお礼申し上げます。

あすなろ授産所におかれましては、人気の高い「さをり織り」製品の製作をはじめとする様々な創作活動に取り組まれております。また、創作活動以外にも書道や音楽、グループ遠足など様々な活動に取り組まれており、利用者の方が楽しめることを一番に日々の支援を行われていることと思います。今後も皆様の活動が発展していくことを期待しております。

本市では、「第6期堺市障害福祉計画・第2期堺市障害児福祉計画」に基づき、障害のある方が住み慣れた地域で、共生、協働のもと主体的に、生き活きと輝いて暮らせる社会の実現をめざしています。その取り組みの1つとして、本市障害福祉の拠点である健康福祉プラザにて、授産活動支援センターを中心に堺市内の授産活動の活性化に尽力しております。今後も皆様と連携をしながら進めていきますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆様にとりまして実りの多い年になりますとともに、堺愛育会のさらなるご発展、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

堺愛育会会長 曾根 政美

あけましておめでとうございます。

コロナ禍の長いトンネルもようやく抜け出せたようで街中にも賑わいと活気が戻り喜ばしいことと思っています。

昨年は堺愛育会の総会を4年ぶりに開催することができました。また、かねてよりご要望のあった成年後見制度の講演会を実施することもできました。そして、堺愛育会50周年記念誌も皆様のご協力のおかげで発行することができました。

今年は、次のステージに向かって、あすなろ授産所も新たな事業に取り組んでいただけたらと思っています。

堺愛育会といたしましては、会員の増強を始め授産製品の販路拡大などに努めているところです。これからもあすなろ授産所のご利用者に愛してもらえるように側面から力を注いでまいりたいと考えていますので、ご要望などございましたらお声を寄せていただきますようお願いいたします。

2024年が皆様方にとって輝かしい年となりますようご祈念申し上げますとともに、堺愛育会に一層のご支援ご協力をよろしくお願ひいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



～みんなでクリスマスリース作りをしました～

あすなろ授産所の作業の中に「木管作業」という作業があります。村上敷物株式会社さんの下請けで絨毯の残糸が付いている木管から毛糸を抜き取り、木管（木の棒）のみにして、それを1本1円で引き取っていただくという作業です。その作業の工程で多量の残糸が出るのですが、残糸は産業廃棄物として有料ごみになります。ですが、あすなろ授産所ではその残糸を利用して毎年クリスマスリースを作っています。（ここ数年はコロナウィルスで販売会がなかったので制作していませんでした。5年ぶりに復活です。）今年は利用者様や職員とご家族様も集まって一緒に制作しました。



堺愛育会への入会のお願い

堺愛育会の活動にご賛同、ご協力をしていただける方の入会を募っています。

会費は1口 1000円です。よろしくお願いいたします。

振り込み先： ゆうちょ銀行 00910-7-310506
堺愛育会



編集後記

あすなろ授産所には、様々なボランティアさんがいらっしゃいますが、その中に「エコベア」というボランティアグループがあります。「エコベア」さんはあすなろ授産所の卒業生のお母さんたちの集まりで、木管の残糸を使用して座布団を編んでおられました。毎月1回定例会で新しいデザインの座布団を教え合いながら素敵な座布団を編まれていました。「コロナウィルス感染拡大でここ数年は集まることができず、また諸事情で令和5年11月27日をもって、13年間継続してきた集まりを解散しました。」という連絡をいただきました。その13年間で、エコベアさんは座布団を編んで販売し、総メンバー36名（最終は3名）の皆様にご賛同いただき、総額381,313円もの寄付をいただきました。そのお金は利用者様の工賃やクリスマスのお菓子に使わせていただきました。

長い間、ありがとうございました。

